本日の会議に付した事件

平成26年第2回山元町議会定例会（第1日目）

平成26年6月13日（金）午前10時

- 日程第 1 会議録署名議員の指名
- 日程第 2 会期の決定
- 日程第 3 提出議案の説明
- 日程第 4 報告第 2号 専決処分の報告について（賠償額の決定及び和解）
- 日程第 5 報告第 3号 専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）
- 日程第 6 報告第 4号 専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）
- 日程第 7 報告第 5号 繰越明許費繰越計算書について（平成25年度山元町一般会計）
- 日程第 8 報告第 6号 事故繰越し繰越計算書について（平成25年度山元町一般会計）
- 日程第 9 報告第 7号 山元町下水道事業会計予算繰越計算書について

午前10時00分 開 議

議 長（阿部 均君）ただいまから、平成26年第2回山元町議会定例会を開会します。

これから本日の会議を開きます。

農業基盤整備推進室長大和田敦君が病気休暇中のため、今会期中の会議を欠席し、同室農地整備班長蓬畑健一君、施設管理班長木村知行君が出席する旨の申し出があります。

りんごラジオから写真撮影の申し出があり、これを許可しております。

本日の議事日程は、お手元に配布のとおりです。

〔議事日程は別添のとおり〕

議 長（阿部 均君）日程第1．会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員は、山元町議会会議規則第124条の規定によって、3番渡邊 計君、4番菊地八朗君を指名します。

議 長（阿部 均君）日程第2．会期の決定を議題といたします。

事務局長にお手元に配布しております会期日程案を朗読させます。

事務局長（渡邊秀哉君）はい、議長。

会期日程（案）、月日、曜日、会議別、内容の順に朗読いたします。

6月13日、金曜日、本会議、会議録署名議員の指名、会期の決定、提出議案の説明、議案審議。

6月14日、土曜日、6月15日、日曜日、休会。

6月16日、月曜日、常任委員会。

6月17日、火曜日、休会。

6月18日、水曜日、本会議、会議録署名議員の指名、一般質問。

6月19日、木曜日、本会議、会議録署名議員の指名、一般質問。

6月20日、金曜日、常任委員会。

6月21日、土曜日、6月22日、日曜日、休会。

6月23日、月曜日、本会議、会議録署名議員の指名、議案審議。以上です。

議長（阿部 均君）お諮りします。本定例会の会期は、会期日程案のとおり、本日から6月23日までの11日間にしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

議長（阿部 均君）異議なしと認めます。

よって、本定例会の会期は、本日から6月23日までの11日間に決定しました。

議長（阿部 均君）これから議長諸報告を行います。

事務局長にお手元に配布しております報告書を朗読させます。

事務局長（渡邊秀哉君）はい、議長。

議長諸報告1. 議会閉会中の動向

3月25日、宮城県町村議会議長会理事会が仙台市で開催され出席しました。

3月26日、仙南・亘理地方町村議会議長会議が大河原町で開催され出席しました。

4月3日、亘理地方町村議会議長会定期総会が開催され、正副議長が出席しました。

4月15日、神奈川県横浜市会議員が視察研修のため訪れ、出席しました。

4月23日、仙南・亘理地方町村議会議長会議が大河原町で開催され出席しました。

4月24日、亘理名取市町議会連絡協議会定例会が亘理町で開催され、正副議長が出席しました。

5月12日から13日、議会広報常任委員会が視察研修のため岩手県金ヶ崎町及び利府町を訪れました。

5月15日、JR常磐線移設復旧本体工事着工式が開催され、正副議長、産建教育常任委員会・東日本大震災災害対策調査特別委員会の正副委員長が出席しました。

5月19日から21日、総務民生常任委員会が視察研修のため長野県栄村、下諏訪町及び長和町を訪れました。

5月23日、宮城県町村議会議長会理事会が仙台市で開催され出席しました。

5月27日から28日、全国町村議会議長・副議長研修会が東京で開催され出席しました。また、県選出の国会議員との国政を語る会に参加しました。

6月2日、宮城県町村議会議長会臨時総会が開催され出席しました。

総務民生常任委員会、4月10日、5月1日、6月2日、委員会が開かれました。

産建教育常任委員会、5月15日、23日、委員会が開かれました。

議会広報常任委員会、4月14日、21日、6月3日、委員会が開かれました。

裏面をお開きください。

議会運営委員会、3月27日、6月12日、委員会が開かれました。

東日本大震災災害対策調査特別委員会、5月29日、6月5日、委員会が開かれました。

全員協議会、5月29日、6月10日、協議会が開かれました。

2. 請願（陳情）の受理。陳情10件が提出され、これを受理したので、その写しを配布しております。

3. 長送付議案等の受理。町長から議案等19件が提出され、これを受理したので、その写しを配布しております。

4. 質問通告書の受理。岩佐哲也君ほか7名の議員から一般質問の通告があり、これを受理したので、その一覧表を配布しております。

5. 監査、検査結果報告書の受理。監査委員から例月出納検査結果報告書が提出されこれを受理したので、その写しを配布しております。

6. 請願の処理経過及び結果報告の受理。町長から請願第4号坂元字道合地区における排水対策に関する請願の処理経過及び結果報告が提出され、これを受理したので、その写しを配付しております。

7. 説明員の出席要求。本定例会にお手元に配布のとおり説明員の出席を求めています。

8. その他特に報告すべき事項。町長から工事請負契約締結の報告書が提出されたので、その写しを配布しております。以上です。

議長（阿部 均君）これで議長諸報告を終わります。

議長（阿部 均君）ここで4月1日付人事異動に伴う課長等の紹介をいたします。

門脇副町長からご紹介いただきたいと思います。

副町長（門脇克行君）大変貴重な時間を頂戴いたしまして恐縮でございます。

それでは、去る4月1日の人事異動により執行部側説明員に変更が生じてございますので、私のほうから紹介をさせていただきます。

紹介順につきましては、議員席から見て左側前列のほうから順に紹介をさせていただきます。まず、事業計画調整室長、櫻井英文でございます。企画財政課長、後藤正樹でございます。建築営繕室長、佐藤和典でございます。農業基盤整備室長、大和田敦でございますが、なお大和田室長につきましては現在けがのため入院・加療中につき、今議会に出席できかねましたこと、それから特にお認めをいただき室長にかわる説明員として農業基盤整備推進室施設管理班班長、木村知行、並びに農地整備班班長蓬畑健一の両名を出席させていただいておりますので、よろしくお願いを申し上げます。

以上で職員の紹介を終わります。ありがとうございました。

議長（阿部 均君）これで紹介を終わります。

議長（阿部 均君）日程第3. これから提出議案の説明を求めます。

この際、今定例会に提出された議案等19件を山元町議会先例67番により一括議題といたします。

町長齋藤俊夫君、登壇願います。

町長（齋藤俊夫君）はい、議長。

改めて、おはようございます。本日ここに平成26年第2回山元町議会定例会が開会され、平成26年度補正予算案を初め各種提出議案をご審議いただくに当たり、町政運営の考え方と各種議案の概要についてご説明申し上げますので、議員各位の一層のご理解を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

私は、このたびの任期満了に伴う山元町長選挙におきまして、町民の皆様方からのご理解と力強いご支援を賜り、引き続き町長としての重責を担わせていただくことになりました。町政運営第2ステージの始まりに当たり、町長として2期目のご挨拶ができますことを光栄に思うとともに、東日本大震災で被災されました方々を含む皆様の私に対

する期待と町長としての責任の重さを痛感し、改めて身の引き締まる思いをいたしているところでございます。

これまで取り組んできた実績と私の掲げました今後の政策にご賛同を賜り、そして暖かい励ましの言葉を頂戴いたしましたことに改めて心から感謝を申し上げますとともに、選挙期間中町内をくまなくかけめぐり、町民の皆様からいただいたさまざまなご意見やご要望などを真摯に受けとめながら、今こそ初心に立ち返り、町政運営に関する所信の一端を述べさせていただき、今後の復興まちづくりを初めとした町政運営全般についてのご理解を賜りたいと存じます。

申し上げるまでもなく、町政運営に当たっての最重要課題は、東日本大震災からの早期復興を果たすこととあります。選挙期間中に多数お聞かせいただいた、とにかく早く、一日でも早く復興をなし遂げてほしいとの声は、私の胸にしっかりと刻み込まれております。

私は、選挙期間中、この復興期における2期目の町政運営に当たって、「継続・躍進」をテーマに掲げ、創造的な「復興・再生」に向け全力で取り組むこととお約束してまいりました。特に、私が町民の皆様強くお約束いたしましたのは、何よりも被災された方々の一刻も早い生活の再建と防災・減災対策を加速化し、後世に誇れる持続性の高い「新生やまもと」をつくり上げることであります。

とりわけ、報道でもありましたように、消滅可能性都市と分類された我が町にあっては、人口減少を抑制できるような、将来に向けて持続可能な賢いまちづくりを進めることが大切であると考えております。

こうした考えのもと、1期目に引き続き、新たなまちづくりに向けて、町の顔となる魅力ある新駅エリアや医療福祉ゾーンを持つ市街地の整備を推進し、被災された方々の平成27年度中の全ての移転完了の実現に向け努力してまいります。また、子育てと福祉の充実を図るべく、子育て拠点施設の整備や医療費助成の拡大、並びに高齢者福祉施設の整備に対する支援に取り組んでまいります。

さらには、農水産物直売所の再建による交流拠点と憩いの場の整備や、企業誘致を推進し、交流人口の拡大のみならず、地域の雇用創出を図り、町の活性化につなげるとともに、町民の皆様の安全・安心な暮らしを担保する避難道や防災公園の整備など、防災・減災対策にも取り組んでまいります。

私たちの子や孫が新たな山元町の創造に拍手を送り、まだ見ぬ未来の町民の皆様豊かな山元町を継承していけるような仕事を、私は町民の皆様と一緒にやり遂げたいとの思いを一層強くしているところであり、皆様の知恵と力をおかりすれば決して不可能なことではないと信じております。

復興に向かう道のりは依然として厳しく、まだ道半ばで課題も多い状態にありますが、このようなときだからこそ町民の皆様と議会、そして行政とが一体となって対話、協調、連携による合意形成のもと、町の総力を挙げて「チーム山元」として力強く邁進してまいりたいと存じます。私も「新生やまもと」の実現に全力を傾けて誠心誠意努力してまいっている覚悟でございますので、議員各位のさらなるご支援とご指導を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

それでは、東日本大震災からの復興・再生に向けた最近の取り組みについてご報告申し上げます。

初めに、新市街地整備事業の進捗状況についてですが、新山下駅周辺地区における災害公営住宅については、既に完成している50戸に加え、建築を進めていた戸建て25戸についても過日入居募集を行い、去る4月から新たに17世帯の皆様が新しい環境での生活を始めているところであり、先月10日には災害公営住宅地内における住民相互の交流がスムーズに行われるよう、既に入居されている皆様との顔合わせ会も開催したところでもあります。

次に、新市街地の造成事業等に関する進捗状況についてですが、新山下駅周辺地区においては、地盤改良や盛土工事とあわせ、新市街地から国道6号への新たな接道の整備に係る橋梁の下部工の着手に加え、山下館跡において埋蔵文化財の本掘作業が開始されております。

また、新坂元駅周辺地区においても、国道6号の東側については地盤改良を終え、J R東日本と協議を行いながら盛土工事に取りかかっており、西側についても外周の地盤改良を終え、北西部側から盛土工事を同時並行で行っているなど、新市街地の整備事業が加速化しつつある状況にあります。

一方、宮城病院周辺地区については、他地区に比べ事業の発注まで不測の時間を要しておりましたが、宮城病院による産業廃棄物の処分に一定のめどがついたところであり、平成27年度中の全ての移転完了を目指し事業を進めているところでもあります。

なお、被災された皆様に先の見通しをつけていただけるように、残る災害公営住宅の入居募集と戸建て住宅用地の分譲については、今月末にも3地区一斉にご案内が出来ますよう、募集パンフレットの準備を進めているところであり、一日でも早く住まいの再建や事業再開のめどを立て、被災者の皆様に希望を持っていただけることが、町の復興に弾みがつくものと考え、鋭意努力しているところでもあります。

次に、津波被災住宅再建支援の申請受け付けについては、昨年12月から全ての災害危険区域から単独で移転された方々の申請を受け付けているところではありますが、先月から第2種区域における現地再建に係る申請受け付けを開始し、今月16日からは、第3種区域における現地修繕等の事前相談及び申請の受け付けを開始することとしております。

次に、一日も早い復旧が待たれるJ R常磐線復旧事業の進捗状況についてですが、これまで進めてきた用地の取得や工事用通路の整備等の準備工事に一定のめどがつき、いよいよJ R常磐線の移設復旧に係る本体工事が着手され、先月15日には高架橋を支えるための記念すべき1本目のくい打ち工事も始まるなど、移設復旧工事が本格的に始動したところでもあります。町としても、引き続きJ R東日本を初め関係機関と連携を図りながら、一日も早い運転再開に向け鋭意努力してまいります。

次に、我が町のみならず隣接自治体も含めた総合的な交通体系の進展と地域経済の活性化が大いに期待される（仮称）坂元スマートインターチェンジの整備状況についてですが、現在は、既存の町道久保間中山線の付け替え及び取りつけ道路の整備を進めているところであり、平成28年度中の供用開始に向け、NE XCO東日本を初め関係機関に対し働きかけを強化してまいりたいと考えております。

次に、昨年9月から建設工事を進めておりました磯浜漁港の水産業共同利用施設、水産物荷捌所と漁具倉庫も去る3月末に完成したところでもあります。また、仙台いちごの産地復活を図るべく、先行して整備を進めてきたイチゴ団地整備事業についても、去る

4月末に最後の16棟が完成し、関係農家に引き渡しを行ったところであります。これにより、栽培面積につきましては震災前の75パーセントまで復旧し、出荷量においても90パーセントまで回復する見込みであります。これらの施設が本格稼働したことにより、我が町の基幹産業の復興・再生に一層の弾みがつくものと期待を寄せているところであります。

次に、山元の未来への種まき会議の主催によって、亘理清掃センター周辺6.7ヘクタールの被災田において開催されました福岡県行橋市からの支援の絆であります菜の花畑「黄色の架け橋プロジェクト」についてですが、先月5日のイベント当日は、町内外からも大勢の皆さんにご来場いただき、イベントを通じた情報発信によって交流人口の拡大が図られているところであります。

次に、沿岸部の土地利用の再編を目指し取り組んでいる山元東部地区農地整備事業の進捗状況についてですが、約80パーセントの地権者の方々から同意を得られましたことから、先月16日に宮城県に施行申請をしたところであります。今後は、本格着工に向けて各種調整を行うとともに、関係者の方々に対し引き続き事業への理解を求めながら、早期に事業着手ができるよう取り組んでまいります。

次に、沿岸部における防潮堤整備事業並びに海岸防災林復旧事業の進捗状況についてですが、流出した防潮堤の整備については、全面護岸により強固な堤防を構築すべく、平成28年3月の整備完了を目指し順調に工事が進められている状況であります。

また、海岸防災林復旧事業につきましては、津波の水流にも耐えられるよう、地下水位より2メートルから3メートルの盛土工事を行い、牛橋地区の一部では既に盛土工事が完了した約7ヘクタールでクロマツの植栽も完了しており、全ての植栽を終えるのは平成32年度となる見込みであります。

次に、さきの東日本大震災により被災しこれまで使用不可となっておりました牛橋公園についてですが、復旧工事も完了し、野球場の芝も定着するなど公園内の整備も整いましたことから、来月5日に再オープンを迎える運びとなり、新たなにぎわいが創出されるものと期待しております。

次に、未曾有の大震災の記憶や教訓を後世に伝承し、防災意識を高めることが必要と考え、震災遺構としての保存のあり方等を検討しております中浜小学校についてですが、去る3月から4月にかけて町内全世帯を対象とした震災遺構に関するアンケート調査を実施するとともに、先月27日には検討委員による現地調査も実施し、このアンケート調査結果を踏まえた第2回山元町震災伝承検討委員会を開催し、震災の伝承や遺構保存のあり方、運営方法について慎重に検討を重ねているところであります。

次に、子育て支援に関する拠点の整備計画についてですが、先月18日にはハード面の整備に関する意見の聴取だけでなく、これからの子育て支援のあり方や子育て支援に関する我が町の問題点など、実際に子育てにかかわっている若い世代の方々との意見交換の場として第1回パパ ママ ミーティングを開催したところであり、このような機軸を通じて得られた貴重なご意見やご提案を、今後の子育て拠点の整備計画や具体的子育て支援策に反映してまいりたいと存じます。

最後に、企業誘致活動についてですが、先月26日にはステンレス加工の金属製品製造業のメルコジャパン株式会社と新工場建設に関する立地協定を締結いたしました。現計画では、坂元字大森地内の約1万1,000平方メートルの土地に航空機エンジンの

部品加工部門を担う工場が建設される計画となっております。来月7月に工事着手をし、来年3月に操業を開始する予定であり、地元からの新規雇用も計画されているところであります。県外からの企業誘致が実現したのは実に30年ぶりのことであり、新たな企業が町内立地することは、我が町のみならず、新たな雇用の創出と地域経済の活性化が図られるものと大いに期待しております。

以上、東日本大震災からの復興・再生に向けた最近の取り組みについてご報告申し上げます。引き続き、我が町の復興・再生へ向け「チーム山元」一丸となり、全力で取り組んでまいり所存でありますので、議員各位におかれましても、なお一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

それでは、本定例会においてご審議をいただく各議案の概要について、順を追って申し上げます。

初めに、専決処分に係る報告並びに承認関係議案について申し上げます。

報告第2号専決処分の報告については、損害賠償請求に係る和解について専決処分をしましたので報告するものであります。

報告第3号ないし第4号までの専決処分の報告については、工事請負契約の変更に関する専決処分をしましたので報告するものであります。

報告第5号繰越明許費繰越計算書については、さきの第1回山元町議会定例会においてご可決いただきました平成25年度予算の繰越明許費について、平成26年度に繰り越ししましたので報告するもの、報告第6号事故繰越し繰越計算書については、関係機関との協議に不測の時間を要したことにより一部の事業が完了できなかったため、平成26年度に事故繰越ししましたので報告するもの、報告第7号山元町下水道事業会計予算繰越計算書については、災害復旧関連事業を平成26年度に繰り越ししましたので報告するものであります。

次に、承認第1号専決処分の承認を求めることについては、給与に関する号俸の調整に関する人事院規則の制定を踏まえ、所要の改正を行ったもの、承認第2号ないし第3号までの専決処分の承認を求めることについては、地方税法等の一部を改正する法律が施行されたことに伴い、山元町町税条例及び山元町国民健康保険税条例の一部を改正し、本年4月1日から施行する必要があったことから専決処分をしたものであります。

次に、承認第4号については、平成25年度山元町一般会計補正予算（専決第1号）であります。

歳出予算の総務費では、財産管理費において各種基金の利子積立金の増額及び震災復興基金、並びに震災復興交付金基金の積立金を増額措置したものであります。また、衛生費では、災害廃棄物処理事業費において事業費の確定に伴う減額措置したものであり、教育費では事務局費において奨学基金の積立金を増額措置したものであります。

なお、歳入予算については、震災復興特別交付税等の確定による地方交付税の減額措置に加え、災害廃棄物処理事業費に係る国県支出金の増減額措置、及び震災復興関連寄附金や預金利子等の増額措置を行い、最終的な財源調整として財政調整基金の取り崩しを増額措置した結果、歳入歳出それぞれ約37億8,000万円を減額し、総額479億3,000万円余とする補正予算として専決処分したものであります。

次に、承認第5号については、平成25年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算（専決第1号）であります。

歳出予算の基金積立金において財政調整基金の利子積立金を増額措置したものであり、歳入歳出それぞれ5,000円を増額し、総額20億5,000万円余とする補正予算として専決処分したものであります。

次に、承認第6号については、平成25年度山元町介護保険事業特別会計補正予算（専決第1号）であります。

歳出予算の基金積立金において、介護保険事業基金の利子積立金を増額措置したものであり、歳入歳出それぞれ1,000円を増額し、総額13億2,000万円余とする補正予算として専決処分したものであります。

次に、議決議案について申し上げます。

議案第35号山元町地域防災計画については、計画の修正に当たり議会の議決を求めるもの、議案第36号消防ポンプ積載車等の購入計画については、財産の取得について議会の議決を求めるものであります。

続きまして、補正予算関係議案となります議案第37号平成26年度山元町一般会計補正予算案（第1号）について申し上げます。

今回ご審議をお願いいたします補正予算案の考え方につきましては、さきの第1回山元町議会定例会において骨格予算とした当初予算に対して、私の6つの選挙公約に合致する事務事業として判断したもの、及び政策的な事務事業のうち継続的または当初予測できなかった事情や補助事業の内示あるいは新たに事務事業として必要であると判断したもの等に対応すべく提案するものであります。

初めに、私の選挙公約に合致するものと判断した事務事業のうち主なものについて申し上げます。

まず第1に、町の顔となる拠点の形成関連事業といたしましては、生活の再建を最優先に掲げ、新坂元駅周辺地区の新市街地整備事業において、坂元川の南側と北側の土地利用の再検討を行い、災害公営住宅の早い時期での提供や安全対策及び請願のありました排水対策に係る費用負担の軽減を考慮し、坂元道合地区における中層集合タイプの災害公営住宅整備に係る事業費を計上しており、JR常磐線の復旧に伴う道路改良事業といたしましては、高瀬笠野線、町中浜線及び坂元中学校線とJR常磐線との交差点における町道改良事業に係る経費を計上しております。

第2に、子育てと福祉の充実関連事業といたしましては、子育て支援推進事業としてベビーマッサージ講座の開催費用や子育てガイドブックの作成に係る費用を計上するとともに、児童遊園内の遊具の整備費用や山下小学校体育館の床の修繕費用及び遠距離通学補助金について計上しております。また、元気高齢者創出事業や農と福祉の連携によるシニア能力活用事業を継続するとともに、敬老会についても引き続き継続する費用を計上しております。

第3に、交流拠点と憩いの場の整備関連事業といたしましては、第4回ふれあい産業祭や新市街地と現商店街の融合・連携強化に関する事業に係る補助金の計上や、都市と農村を結ぶ滞在型交流体験の企画や実施、地場産品を活用した加工品等の新たな開発のための事業費を計上しております。

第4に、企業誘致で雇用と税収を確保関連事業といたしましては、効率的な企業誘致活動の展開を図るべく、緊急雇用創出事業を活用して被災求職者を雇用し、町内中小企業の現況調査や空き工場などの情報をデータベース化する事業費を計上しております。

第5に、農業振興と排水対策の推進関連事業といたしましては、農業後継者を確保するため新規就農者に対する技術の習得や所得の確保を目的とした給付金を計上するとともに、水田農業における安定した用水確保を念頭に置いた、震災後における農業用ため池の現況調査事業及び坂元地区谷地川配水路の改修に係る工事費や追越したため池の護岸改良工事費を計上しております。

第6に、防災・減災対策の加速化関連事業といたしましては、地域防災リーダー養成事業費や災害要援護者のための電算システムの構築費用を計上し、避難路の整備事業として町道山下花釜線の拡幅事業及び信浜地区から戸花山を經由して合戦原地区の南端を結ぶ新たな（仮称）新浜諏訪原線の新設事業に係る調査設計費用を計上しております。

次に、政策的な事務事業のうち継続的または当初予測できなかった事情や補助事業の内示、あるいは新たに事務事業として必要であると判断した事務事業のうち主なものについて申し上げます。

初めに、歳出予算の総務費については、情報管理費及び戸籍住民基本台帳費において社会保障・税番号制度、いわゆるマイナンバー制度の対応に伴う電算システム改修委託料を追加措置するとともに、賦課徴収費において平成27年基準年度固定資産税の評価がえ対応として、標準宅地の見直しに関する宅地番号等の置きかえ業務に係る委託料を追加措置するものであります。

次に、民生費については、社会福祉総務費において、消費税の引き上げによる低所得者及び子育て世代への影響緩和を目的とした臨時福祉給付金及び子育て世帯臨時特例給付金を追加措置するものであります。

次に、衛生費については、予防費において、風疹ワクチンの接種希望者に対する接種費用の助成を追加措置するとともに、保健衛生復興推進費において、働く世代の女性支援のためのがん検診に関する受診勧奨の費用及び受診費用の無料化に係る事業費を追加措置するものであり、放射能除染対策費においては、除染区域内における通学路の除染に係る事業費を追加措置し、清掃復興推進費においては合併処理浄化槽の設置工事請負費を追加措置するものであります。

次に、農林水産業費については、農業振興費において、去る2月の大雪による農業施設被害対策として施設の復旧や撤去に係る補助金を追加措置するとともに、農業復興推進費において、震災により廃止した農業集落排水施設の処分に係る費用を追加措置するものであります。

次に、土木費については、坂元小学校の北門から西側に向かう通学路の拡幅整備となります町道下郷館下南線の調査費用、及び山下中央部の県道山下停車場線から東部へ通じ町道山下北保育所線までを結ぶ路線の改良に係る調査費用、並びに常磐自動車道の開通に合わせ、現在ボトルネックとなって通行の障害となっております町道鷺足花釜線の道路改良、及び浅生原箱根仮設住宅付近から高瀬ガーデンに通ずる町道浅生原畑線の道路改良に係る工事請負費を措置するものであります。

最後に、債務負担行為の補正につきましては、新市街地整備に係る造成工事等に要する経費について、それぞれ期間及び限度額を設定するものであります。

なお、ただいま申し上げました歳出予算に見合う財源としては、国県支出金の増額措置及び震災復興特別交付税を増額措置するとともに、震災復興交付金からの繰入金を増額措置し、最終的な財源調整として財政調整基金の取り崩しを増額措置した結果、歳入

歳出それぞれ約 8 億 2, 0 0 0 万円を増額し、総額 2 0 9 億円余とするものであります。

続きまして、各種特別会計補正予算案について申し上げます。

議案第 3 8 号平成 2 6 年度山元町国民健康保険事業特別会計補正予算案（第 1 号）について申し上げます。

歳出予算の主なものについては、退職被保険者医療費の増加に伴う保険給付費の増額、国民健康保険税の法改正に伴うシステム改修経費の増額、及び特定健診保健指導受診勧奨のための保健事業に係る経費の増額措置を行うものであります。

また、歳入予算につきましては、歳出予算の補正に必要な財源を全額財政調整基金の取り崩しで調整するものであり、今回の補正額は約 3, 5 0 0 万円を増額し、歳入歳出予算額の総額を 1 9 億 7, 0 0 0 万円余とするものであります。

次に、議案第 3 9 号平成 2 6 年度山元町介護保険事業特別会計補正予算案（第 1 号）について申し上げます。

歳出予算につきましては、介護予防事業として地域支援事業である高齢者の食生活改善事業経費の増額措置を行うものであります。また、歳入予算につきましては、歳出予算の補正に必要な財源として定められている割合により国、県等の交付金を増額するものであり、今回の補正額は約 4 5 万円を増額し、歳入歳出予算の総額を 1 2 億 7, 0 0 0 万円余とするものであります。

次に、企業会計について申し上げます。

議案第 4 0 号平成 2 6 年度山元町水道事業会計補正予算案（第 1 号）について申し上げます。

債務負担行為につきましては、東日本大震災による影響により、水道料金の収入減少など今後の経営が厳しい状況となることが予想されることから、さらなる経営の効率化を図ることを目的に、上下水道事業の包括的業務委託に要する経費の期間及び限度額を定めるものであります。

次に、議案第 4 1 号平成 2 6 年度山元町下水道事業会計補正予算案（第 1 号）について申し上げます。

収益的収入及び支出では、農業集落排水施設の廃止管渠処理費用を追加するものであります。資本的支出では、公共下水道区域内での住宅建設の増加に伴い、取付管工事費を追加するものであります。

なお、債務負担行為につきましては、水道事業会計と同様に、上下水道事業の包括的業務委託に要する経費の期間及び限度額を定めるものであります。

今回の補正額は、収益的収入を約 5, 0 0 0 万円増額し、総額 1 0 億 3, 0 0 0 万円余に、収益的支出を約 5, 0 0 0 万円増額し、総額 9 億 8, 0 0 0 万円余に、資本的支出を 4 0 0 万円増額し、総額 1 0 億 2, 0 0 0 万円余とするものであります。

以上、平成 2 6 年第 2 回山元町議会定例会に提出しております議案の概要についてご説明申し上げましたが、各種議案等の細部につきましては、さらに関係課長に説明をさせますので、よろしくご審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げます。以上でございます。

議長（阿部 均君）これで提出議案の説明を終わります。

議長（阿部 均君）この際、暫時休憩といたします。再開は11時といたします。

午前10時51分 休憩

午前11時00分 再開

議長（阿部 均君）再開いたします。休憩前に引き続き会議を開きます。

議長（阿部 均君）日程第4．報告第2号を議題とします。

本案について報告を求めます。

学務課長（菅野寛俊君）はい、議長。報告第2号専決処分の報告についてをご説明申し上げます。

地方自治法第180条第1項の規定により専決処分いたしましたので、同条第2項の規定により報告するものでございます。

2枚目の専決処分書をお開きください。

地方自治法第180条第1項の規定に基づき、議会の議決により指定された町長の専決処分事項。本件は井戸水配水管切断事故に関し、損害賠償の額を定め和解することについて、平成26年3月19日専決処分したものでございます。

1．相手方は、山元町在住の記載の方でございます。

2．事故の概要ですが、平成24年8月22日、町発注の山下第二小学校仮設教室借上事業において施工した地盤改良工事によって、相手方使用の井戸水配水管を切断し配水機能を失わせたものでございます。

3．損害賠償の額その他の和解条項ですが、(1)町は相手方に対し本件事故の損害賠償として金43万8,480円を支払うことを認め、これを相手方の口座に送金して支払う。

(2)相手方及び町は、本件事故については以上で解決し、ほかに何ら債権、債務のないことを確認する。

以上で報告第2号の説明といたします。

議長（阿部 均君）報告第2号専決処分の報告について（賠償額の決定及び和解）を終わります。

議長（阿部 均君）日程第5．報告第3号を議題とします。

本案について報告を求めます。

産業振興課長（寺島一夫君）はい、議長。それでは、報告第3号専決処分についてご説明を申し上げます。

本件につきましては、地方自治法の規定によりまして専決処分いたしましたので、ご報告するものであります。

この内容につきましては、お手元に配布している資料のNo.1でご説明申し上げます。

あらましでありますけれども、まずイチゴ団地、第3団地、第4団地におけるハウス等の施設建設工事におきまして、本年2月の大雪により工期を延長する必要が生じたことに伴いまして、消費税法の改正による税額の増額について変更契約を締結したものであります。

まず、契約の目的であります、平成25年度産振農復請2号山元町イチゴ団地ハウス等施設建設工事（第3・4団地）であります。

2といたしまして、契約の相手方でございますが、東京都の井関農機株式会社東京本社事務所でございます。

3といたしまして、契約金額でございますが、現契約14億9,572万5,000円を7万5,000円増額いたしまして14億9,580万円としたものでございます。

4といたしまして、工事の場所でございますが、山元町笠野が第3団地、新浜が第4団地でございます、次のページに位置図を添付しております。

次に5番目、工事の概要、変更分でございますが、内容といたしましては、消費税5パーセントが現契約に課税されているもののうち、12万5,000円を対象金額のうち8パーセント増額、要は3パーセント増になるということで7万5,000円増いたしまして、消費税分だけが20万円に変更ということになります。工期につきましては、昨年8月10日から本年3月20日までといたしておりましたけれども、4月24日まで35日間延長したものでございます。

最後に、変更理由でありますけれども、2月の大雪によりまして工事現場内の除雪作業に不測の日数を要したために、3月の議会で繰り越しのご承認をいただきまして工期を4月24日まで延長いたしました。これに伴いまして、消費税法の規定によりまして、25年10月29日に専決処分いたしましたハウスの基礎工の置きかえ工と地盤改良工を増減しておりますけれども、その相当額分、変更した分についてだけ、要は10月1日以降に契約したものについてだけが5パーセントから8パーセント適用になるということで、3%増になる分の消費税のみを変更増額いたしましたものであります。

以上、ご報告といたします。

議長（阿部 均君）報告第3号専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）を終わります。

議長（阿部 均君）日程第6．報告第4号を議題とします。

本案について報告を求めます。

まちづくり整備課長（森 政信君）はい、議長。報告第4号専決処分の報告について申し上げます。

地方自治法第180条第1項の規定により専決処分したのでご報告を申し上げます。

説明に当たりましては、資料の3枚目に添付されております配布資料No.2でご説明をさせていただきます。

本案件は、東日本大震災で被災した磯浜漁港施設に係る災害復旧工事において、消費税法改正による税額の増額について変更契約をしたものでございます。

概要につきましてご説明させていただきます。

1．契約の目的でございます。平成25年度債務負担行為磯浜漁港施設災害復旧工事でございます。

2．契約の相手方。仙台市青葉区中央二丁目9番27号、東洋建設株式会社東北支店。執行役員支店長近石光正でございます。

3．契約の金額でございます。現契約が8億4,798万4,200円、消費税を含みます、対しまして、増額324万6,330円をいたしまして、変更額8億5,1

23万530円とするものでございます。

4. 工事の場所でございます。山元町の坂元字浜地先となります。

5. 工事の概要でございます。変更分といたしまして、現契約の5パーセントの消費税分に対しまして増額となる3パーセント分の消費税額324万6,330円を増額することにより、消費税額が8パーセント相当額865万6,880円となるものでございます。

6. 工期でございますが、平成25年6月19日から平成28年2月29日まででございます。

最後になります7. 変更の理由でございますが、平成26年4月1日からの消費税及び地方消費税の税率改正に伴い、当初設計より追加になった工事のうち平成26年4月1日以降に実施する工事について消費税率8パーセントが適用となりますことから、税率増となる3パーセント相当分について変更増額したものでございます。

以上、報告第4号の説明とさせていただきます。

議長（阿部 均君）報告第4号専決処分の報告について（工事請負契約金額の変更）を終わります。

議長（阿部 均君）日程第7. 報告第5号を議題とします。

本案について報告を求めます。

企画財政課長（後藤正樹君）はい、議長。それでは、報告第5号繰越明許費繰越計算書についてご説明申し上げます。

さきの第1回山元町議会定例会におきまして明許設定いたしました一般会計補正予算第7号及び第8号につきまして、地方自治法施行令の規定に基づきまして具体的な繰越額を報告させていただくものでございます。

1ページをお開き願います。

平成25年度山元町一般会計繰越明許費繰越計算書でございます。

ごらんとおり、30事業実際に繰り越しております。各款ごとに繰越額の大きいものを中心にご説明をさせていただきたいと思っております。

それでは、まず第2款総務費第1項総務管理費、山元町定住促進対策事業費補助金でございます。こちらは、町内に新たに住宅を取得する方や世帯向け賃貸住宅を建設される方に対する補助金でございます。明許繰越額は2,570万円でしたが、実際に翌年度に繰り越した額は2,450万円ということになってございます。財源内訳につきましましては全額一般財源となっております。

続きまして、第3款民生費第2項児童福祉費、子供子育て支援システム導入事業でございます。こちらは、昨年8月に成立いたしました子ども・子育て関連3法に基づく新制度において、町が事務を円滑に実施するためにシステムを導入するものでございます。明許繰越額が1,400万円余りでしたが、その全額を繰り越しさせていただくものでございます。財源内訳につきましましては全額県支出金となっております。

続きまして、第4款衛生費第2項清掃費、東日本大震災災害廃棄物処理事業でございます。こちらはいわゆる瓦れきの処理の経費なわけですが、こちらの処理自体につきましましては平成25年中に完了いたしました。焼却炉など施設の解体などいわゆる後処理

のために繰り越したものでございます。明許繰越額が48億9,600万円余りでございましたが、実際翌年度に繰り越した額はほぼ同額となっております。財源内訳につきましては、平成25年中に既に受け入れた国庫補助金等の既収入特定財源が約7億8,000万円、国県支出金が約40億8,900万円、一般財源が約2,400万円となっております。

続きまして、第6款農林水産業費第1項農業費、山元町イチゴ団地化整備事業でございます。こちらは2月の大雪の影響により繰り越したものでございます。明許繰越額が8億700万円余りでございましたが、実際に翌年度に繰り越した額はほぼ同額となっております。財源内訳につきましては、既収入特定財源が約6億500万円、一般財源が約2億100万円となっております。

続きまして、2ページをお開き願います。

第8款土木費第2項道路橋梁費、幹線道路等整備事業でございます。こちらは、避難路として整備しております上平磯線の整備事業でございます。明許繰越額が3,800万円余りでございましたが、実際に翌年度に繰り越した額は1,400万円余りとなっております。財源内訳につきましては、既収入特定財源が約1,100万円、一般財源が約300万円となっております。

続きまして、同じ土木費の第5項下水道費、下水道事業会計補助金でございます。こちらは、一般会計から下水道事業会計の補助金、いわゆる繰り出しの補助金となっております。内容といたしましては、特定環境保全公共下水道、いわゆる特環下水、それから農業集落排水、農集排と呼ばれるものの管路の災害復旧事業でございます。明許繰越額は3億6,900万円余りでございましたが、その全額を繰り越しさせていただくものでございます。財源につきましては全額一般財源となっております。

続きまして、同じく土木費の第6項都市計画費、防災集団移転促進事業でございます。こちらは災害危険区域1種、2種の被災宅地買い取りに係る事業費でございます。明許繰越額が12億1,200万円余りでございましたが、実際翌年度に繰り越した額は9億7,000万円余りということになってございます。財源内訳につきましては、既収入特定財源が約8億4,500万円、一般財源が約1億2,500万円となっております。

続きまして、同じく第6項都市計画費、津波被災住宅再建事業、町独自支援分でございます。こちらは被災者支援金でございます。主な内容といたしましては、住宅再建に係る利子相当分の補助、建物実費補助でございます。明許繰越額が36億700万円余りでございましたが、実際翌年度に繰り越した額は33億9,800万円余りということになってございます。財源内訳につきましては全額既収入特定財源となっております。

3ページをお開き願います。続きまして、第9款消防費第1項消防費、地域防災計画見直し業務でございます。こちらは、町内外の意見集約に時間を要したため繰り越したものでございますが、明許繰越額が500万円余りということで繰り越してございました。実際に翌年度に繰り越した額は、ほぼ同額となっております。財源内訳につきましては全額一般財源となっております。

最後になります。第11款災害復旧費第1項公共土木施設災害復旧費、漁港施設補助災害復旧事業でございます。こちらは磯浜漁港の防波堤護岸の災害復旧事業でございます。

す。明許繰越額が5,000万円余りでございましたが、その全額を繰り越しさせていただくものでございます。財源内訳については全額国支出金となっております。

以上、30事業合計いたしまして、明許繰越額の合計が114億8,300万円余りとなっておりますが、そのうち109億8,600万円余りを平成26年度に実際に繰り越したということでございます。財源内訳については合計欄に記載のとおりでございます。

報告については以上でございます。

議長（阿部 均君）これから質疑を行います。質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（阿部 均君）質疑なしと認めます。

議長（阿部 均君）報告第5号繰越明許費繰越計算書について（平成25年度山元町一般会計）を終わります。

議長（阿部 均君）日程第8．報告第6号を議題とします。

本案について報告を求めます。

企画財政課長（後藤正樹君）はい、議長。それでは、報告第6号事故繰越し繰越計算書についてご説明いたします。

こちらも地方自治法の施行令に基づきまして具体的な繰り越しの額を報告させていただくものでございます。

1枚お開きいただければと思います。1ページでございます。

平成25年度山元町一般会計事故繰越し繰越計算書でございます。いわゆる突発的な事象によりまして年度内に支出が終わらなかったものをやむを得ず翌年度に繰り越すものにつきまして、その内容、理由等をご説明するものでございます。

まず、第8款土木費第2項道路橋梁費、幹線道路等整備事業でございます。こちらは、避難路として整備しております上平磯線の整備事業でございます。翌年度繰越額の欄をごらんいただければと思いますが、3,000万円余りを事故繰越しするというものでございます。

その理由でございますが、県道相馬互理線並びに常磐道との交差点協議を県及びJRと進めておりましたが、その協議に時間がかかったために年度内の完成が困難となったものでございます。

続きまして、第6項都市計画費、津波復興拠点整備事業でございます。こちらはいわゆる新市街地の整備事業でございます。翌年度繰越額をご覧いただければと思います。6,700万円余りを事故繰越しするというものでございます。

その理由でございますが、新市街地用地に係る建物移転及び埋蔵文化財調査などに時間を要したため、年度内完了が困難となったものでございます。

最後でございます。同じく第6項都市計画費、復興関連道路新設改良事業でございます。こちらは、避難路として整備しております浅生原笠野線の整備事業でございます。翌年度繰越額の欄をご覧いただければと思いますが、1,700万円余りを事故繰越しするというものでございます。

その理由でございますが、こちら県道相馬亙理線並びに常磐道との交差点協議を県及びJRと進めておりましたが、その協議に時間がかかったため年度内完成が困難となったものでございます。

以上、事故繰越しの合計額でございますが、1億1,500万円余り、財源内訳といたしましては、既収入特定財源8,900万円余り、一般財源2,600万円余りとなっております。

報告第6号につきましては以上でございます。

議長（阿部 均君）これから質疑を行います。質疑はありますか。

10番岩佐 隆君の質疑を許します。

10番（岩佐 隆君）はい。財政課長のご説明をいただいたんですけれども、事故繰越しの1つの考え方、説明の中でも出てきたように突発的な理由ということで、理由の中で、最初の支出の道路の橋梁の関係の上平磯線と、都市計画費の下の分の避難路の関係で浅生原笠野線、これについて説明の中で、他機関との協議あるいは不測の日数を要したためということで書いてありますけれども、例えば県とかJRの関係で協議を進める中で、具体的に事業を進めるときに、年度内に終わらせるような形できちっと協議をすべきだと思うんです。突発的な関係のそういった部分に本当に当たるのかどうか、事故繰越しの本来の考え方から言っておかしいのかなと思うんですけれども、実際協議をやはり事業を進めるときに、きちっとその年度内に完成するような協議をすべきだと思うんですが、その辺についてはどうなのか。ほかに突発性が理由ということであったのかどうか。そういう形で次々事故繰越しでやってしまうと、今までの例として震災後にいろいろな、やはり震災後の関係でいろいろな理由があって事故繰越しというのは議会でも認めてきた経緯があるんですけれども、こういった形で協議で突発的な理由ということでされたのでは、事故繰越しの1つの理由の中で非常に我々としてはちょっとおかしいのではないかと思いますので、その辺について説明いただきたいと思います。

企画財政課長（後藤正樹君）はい、議長。ただいまご質問いただいた件ですが、個別具体の中身については担当課長のほうから説明をさせていただければと思いますので、よろしく願いいたします。

震災復興整備課長（庄司正一君）はい、議長。岩佐議員のおっしゃる内容については、我々も鋭意努力しておりましたが、ごもっともだというふうに思います。ただ、今回の2カ所の避難路については、たまたま県道の設計協議と競合すること、あとJR常磐線との交差点との協議等々について我々想定していない、非常に時間がかかったということが主な原因でございますので、その辺ご理解を賜りたいというふうに思います。特に、上平磯線につきましては、東部地区の土地利用の計画等についても道路の路線等がはっきり決まらなかったという事情もありまして、用地測量等に入れなかったというような内容でございました。その辺、諸般の復興事業との調整等に時間を要したということでご理解を賜りたいというふうに思います。よろしく願いいたします。

10番（岩佐 隆君）はい。今お話のように、いろいろな事業が進んでいく中で、事業を進めて年度内に進めるというのは、非常に担当課としてもある程度の調整をきちっとしないとだめだという形であると思います。今後は、やはり震災後、直後と違って、十分に事業を進める考え方、あるいは事業の進捗の中でのいろいろな部分の背景、協議、そういう分

も十分できると思いますので、やはり年度内予算で執行するという形で議会に提案していただいているんですから、きちっと事故繰越しを、よっぽど突発的な理由でなければ突発的な理由ということで事故繰越しに当たらないと思いますので、きちっとその辺は、年度内完成に向けて今後は努力していただくようお願いしたいということです。

震災復興整備課長（庄司正一君）はい、議長。これから、議員おっしゃるように一生懸命頑張って対応したいというふうに思いますので、よろしくご理解のほどお願いします。以上です。

議長（阿部 均君）ほかに質疑はありませんか。

8番（佐藤智之君）はい。6項都市計画費の津波復興拠点の整備事業で、説明欄にあります建物移転及び埋蔵文化財調査、これは具体的にどこの箇所が該当するのか。

用地・鉄道対策室長（渡辺庄寿君）はい。説明欄の中で、新市街地用地というのがこれにあたりまして新山下エリアでございます。これにつきまして建物移転補償等がありまして、そちらの関係でございます。以上でございます。

生涯学習課長（齋藤三郎君）はい、議長。山下館跡の発掘事業に入るのにおくれたという部分でございます。山下館跡の部分でございます。

議長（阿部 均君）もう一度はっきり答弁。

生涯学習課長（齋藤三郎君）はい、議長。山下館跡遺跡の埋蔵文化財発掘でございます。

8番（佐藤智之君）はい。埋蔵文化財、確認でございますけれども、埋蔵文化財については当初予測されたのか、されてなかったのか、その辺について。

生涯学習課長（齋藤三郎君）はい、議長。お答えします。

埋蔵文化財については、当初から予定はいたしておりましたが、その埋蔵文化財を発掘をする経路の部分について建物補償部分ができなかったと、現地に入れなかったという部分がありましての部分でございます。

議長（阿部 均君）ほかに質疑はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（阿部 均君）これで質疑を終わります。

議長（阿部 均君）報告第6号事故繰越し繰越し計算書について（平成25年度山元町一般会計）を終わります。

議長（阿部 均君）日程第9．報告第7号を議題とします。

本案について報告を求めます。上下水道事業所長荒 勉君。

上下水道事業所長（荒 勉君）はい、議長。それでは、報告第7号山元町下水道事業会計予算繰越し計算書についてご説明申し上げます。

平成25年度山元町下水道事業会計予算の繰り越しにつき、別紙のとおり地方公営企業法第26条第3項の規定により報告するものでございます。

次のページをお開き願います。

地方公営企業法第26条第1項の規定による建設改良費の繰越額でございます。款項目、事業名の順に追ってご説明申し上げます。1款資本的支出1項建設改良費、下水道施設復旧事業でございます。予算計上額1億129万3,050円。支払い義務発生額2億8,977万8,054円。翌年度繰越額でございます。4億9,920万1,000円でございます。財源内訳については記載のとおりでございます。

説明でございますが、たび重なる震災の余震に伴いまして、被災管路の被害調査や施工方法などの検討に不測の日数を要したため、年度内完成が困難となったためでございます。

次に、地方公営企業法第26条第2項のただし書きによる事故繰越額でございます。款、項、事業名を説明いたします。1款下水道事業費3項特別損失、廃止管渠処理事業でございます。予算計上額7,684万774円でございます。支払い義務発生額4,488万2,777円でございます。翌年度繰越額でございます。2,260万円で、財源内訳は記載のとおりでございます。

この説明でございますが、関係機関との財源調整事務に不測の日数を要し、年度内の完了が困難となったためでございます。

以上、報告といたします。

議長（阿部 均君）これから質疑を行います。質疑はありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

議長（阿部 均君）質疑なしと認めます。

議長（阿部 均君）報告第7号山元町下水道事業会計予算繰越計算書についてを終わります。

議長（阿部 均君）以上で本日の議事日程は全て終了しました。

本日はこれで散会します。

次の会議は、6月18日午前10時開議であります。

大変ご苦労さまでした。

午前11時33分 散会